

介護の仕事で 地域貢献

資格がある人も
ない人も

介護への関わり方はさまざま
子育て世代や定年退職した方も



小野田潤さん
茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会会長／株式会社 結代表

Q 介護の担い手不足の原因は？

介護保険制度が始まって約25年が経ち、当初から働いていた方が引退の時期を迎えています。また、待遇面や大変そうなイメージが先行してしまい、若い世代の担い手が増加していないことも大きいと思います。

Q 生活援助員制度はどのような役割を担っていますか？

生活援助員は地域の高齢者の暮らしを支える仕事で、市で創設された「訪問型サービスA(身体介護を含まない生活支援サービス)」を担います。訪問型サービスAは、訪問介護の業務とは異なり、比較的介護度の軽度な方(要支援1・2)の日常生活を

高齢化が進む中、介護の担い手不足が課題になっています。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域全体での支援や取り組みが必要とされています。

市では新たな担い手の育成を目的に、「生活援助員」として認定する独自の研修を行っています。この研修を請け負っている一般社団法人茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会の小野田会長と、研修を修了し、現在介護事業所で働いている小椋さんに、生活援助員など未経験から始められる介護の仕事について聞きました。

介護保険課☎(81)7164

生活援助員からステップアップ
「ありがとう」の一言が嬉しい



小椋優子さん
生活援助員を経て、現在は
訪問介護員に。
チャンティック介護センター所属

Q 生活援助員研修を受けたきっかけは？

出産のため退職し、その後また働きたいと考えていたとき、市の回覧板で研修の案内を見つけました。将来自分も介護を受ける立場になるかもしれないし、今のために学ぼうと思い、研修を受けました。研修中にご縁のあった介護事業所に勤務することになり、最初は生活援助員、現在は資格を取り、訪問介護員として働いています。

Q 生活援助員として働いていたときのことをお聞かせてください

最初は週2~3回のペースで利用者のお宅に伺って、決められた時間内で掃除や

支援するサービスです。仕事内容は掃除や洗濯、調理、買い物などの家事援助を中心になります。ただ、単なる「家事のお手伝い」ではありません。利用者とコミュニケーションを取りながら、その方ができる仕事を少しづつ増やし、自立を支援することが目的です。

Q 生活援助員のニーズは

今後高まっていきますか？

「買い物に行くのが少し難しい」「家事の一部ができない」といった高齢者はとても多いです。生活援助員が体力や気持ちの面を支えることで、利用者は住み慣れた地域で生活を続けやすくなります。今後さらに高齢化が進む中で、高齢者ができるだけ元気に過ごせることがとても重要です。生活援助員の支えは、ますます必要になっていくと思います。

Q 資格がなくても介護に関わる仕事は他にもありますか？

施設などの掃除や調理補助、送迎ドライバー、事務作業他、現場を支える仕事は介護の資格が不要なものも多いです。まずはそのような仕事から始め、利用者と接する中で仕事の魅力を感じ、ステップアップする方もいます。また、定年退職後、地域に貢献したいという方が、送迎ドライバーとして活躍されることもあります。私も転職して介護の世界に入りました。この仕事は、さまざまな家族のかたちや人の優しさに触ることができ、自分自身の人生に大きな学びとなっています。

Q 「私にもできるかな」という人にメッセージを

介護への関わり方はひとつではありません。知識や技術よりも、まず大切なのは「人が好き」という気持ちです。あなたの力を地域の介護に生かしてみませんか。



(撮影協力)特別養護老人ホーム 湘南くすの木、株式会社ニッショウ

CHECK

介護の仕事について 情報を知りたい



市では、介護の仕事の魅力や事業所、研修会などの情報を発信しています。



介護保険課
Instagram

ちがさき合同就職説明会(福祉系)

福祉系事業所10社が参加。複数の事業所に直接話を聞くことができます。

日時 2/5(木)10時~
11時30分



ちがさき合同
就職説明会

CHECK

生活援助員研修

生活援助員になるための研修を10・11月の年2回実施します(全2日)。

参加者募集の告知は、「広報ちがさき」で8月ごろに掲載予定です。

介護の仕事の第一歩に、ぜひ参加してみませんか。

市内介護
事業所
一覧も掲載



生活援助員
研修